

地 理 B (100点満点)

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	
第1問 (20)	A	1	1	3	第4問 (20)	A	20	2	2	
		2	2	4			21	1	2	
		3	3	1			3	2	5	3
	4	4	3	2			3	23	1	3
	B	5	6	2		3	4	24	1	3
		6	7	5		3	B	5	25	2
					6	26		4	3	
第2問 (20)	1	8	5	3	第5問 (20)	1	27	3	3	
	2	9	3	3		2	28	2	3	
	3	10	4	3		3	29	2	3	
	4	11	3	4		4	30	6	4	
	5	12	3	3		5	31	4	4	
	6	13	6	4		6	32	1	3	
第3問 (20)	1	14	3	3	/					
	2	15	2	3						
	3	16	1	4						
	4	17	3	4						
	5	18	2	3						
	6	19	3	3						

# 解 説

## 第1問

### 〈出題分野〉

世界の自然環境

問1  正解 ①

海からの距離による影響以外の要因として大陸東岸の季節風の影響や標高の差による気温の変化などがある。大陸東岸の**ウ**と**エ**、標高の高い**オ**を除き、同緯度となる**ア**と**イ**が正解となる。

問2  正解 ②

地点**D**は北半球で、夏季少雨の地中海性気候である。南へ約800kmとあるので、緯度で約7度南の場所である。また、最暖月がほぼ同じとあるので北半球であり、最多雨月が同じとあるので地中海性気候と同じく亜寒帯低圧帯の影響を受けている。このことから、地点**E**はステップ気候の地域であり、月降水量30mm以上の月が続く期間は短い。

問3  正解 ①

災害のきっかけに対応するのはタイの大洪水については熱帯低気圧での豪雨、東アフリカの大干ばつについてはラニーニャ現象による大気の循環の変化である。このことから、災害に対する弱さに対応するのは**a**と**c**である。**ツ**はタカシの発言に「“災害のきっかけ”が起こる状況を事前に知っておく」とあるので、雨季に降水量が多い事例と少ない事例を比較すればよいので**G**となる。

問4  正解 ③・ 正解 ③

変動帯はプレートの境界に分布するので、新期造山帯に位置する**J・K・L**の3つ。氷河は標高の高い**J・K・L**の3つに分布する。

問5  正解 ②

森林の有無は降水量のみではなく、気温によっても決まるので、**ヤ**は誤り。標高が高くなると気温は下がっていき、森林限界を越えると森林はなくなるので**ユ**は正しい。

問6  正解 ⑤

**ラ**は氷河縮小のピーク期なので、気温の高い夏

に初期よりも氷河が融けた水が多い**h**となる。**リ**は氷河が融けた水が増加するので**X**となる。

## 第2問

### 〈出題分野〉

世界の産業

問1  正解 ⑤

小麦の1ha当たりの収量が多い**C**は集約的な農業が行われているフランスで、EUの共通農業政策による補助金が支払っているため**イ**である。耕地の割合が低い**B**はシベリアなどの寒冷地域が広いロシアで、計画経済から市場経済に移行したので**ア**となる。残った**A**はアメリカ合衆国で、トウモロコシや大豆などとの競合により小麦の生産量が減少しているため**ウ**となる。

問2  正解 ③

東南アジアでは近年日本向けのエビの養殖が増加しているため、2017年は**キ**で、養殖業生産量は**E**となる。

問3  正解 ④

(原料輸送費)+(製品輸送費)=(総輸送費)より、  
①4+0=4万円、②2+1=3万円、③3+2=5万円、  
④0+2=2万円となり、最小となるのは④である。

問4  正解 ③

**サ**はバターで、原料の輸送費が多くかかるので原料の産地である北海道の割合が高い**K**である。**シ**は飲用牛乳で、工場の数が多く原料の産地と市場の両方で生産されるため**J**となる。**ス**は冷凍輸送でコストがかかるアイスクリームで、市場の近くに工場の数が多い**L**となる。

問5  正解 ③

アメリカ合衆国は1970年代後半の自動車貿易摩擦の解消のため、現地生産のための工場建設などで直接投資を行ったため、2000年に最も割合の高い**タ**である。2000年から2010年にかけて急増している**ツ**が世界の工場となった中国となる。**チ**はタイやマレーシアなどのASEAN諸国である。

問6  正解 ⑥

都市の中心部への立地が最も多い**X**が百貨店で

ある。また、その他の割合が最も多い**Z**はコンビニエンスストアとなる。その**Z**で、その他とほぼ同じ割合である**M**が住宅街であると考え。Yは**M**のロードサイドを中心に立地する大型総合スーパーである。

### 第3問

#### 〈出題分野〉

都市と人口

問1  正解 ③

**ウ**は人口が最も多い中国なので、人口100万人以上の都市が多い④となる。**エ**のブラジルは沿岸部に大都市が並ぶので、②となる。**ア**はギニア湾岸とニジェール川に沿って大都市が並ぶので、②となる。残った①が**イ**である。

問2  正解 ②

0～14歳の割合が最も高い**キ**が、発展途上国のケニアである。**ク**は日本と同様に少子化が進んでいる韓国である。オーストラリアやアメリカ合衆国は若い移民が多いため幼年人口の割合が韓国に比べると多い**カ**となる。ケニアなどの発展途上国では大都市へ農村から労働者が仕事を求めて流入するので、幼年人口・老年人口が共に少ない**ハ**が人口第1位の都市となる。

問3  正解 ①

①は英語が公用語のイギリス、アメリカ合衆国、カナダや、イギリスの植民地であったスリランカ、南アフリカ共和国で移住先の国籍を有する者が多いので正しい。②は東南アジアやラテンアメリカでは第二次世界大戦前には観光業は発展しておらず、多くは農業や鉱業に従事したので誤り。③は西アジアへ移住した人の多くが建設業に従事しているので誤り。④はインド国内の情報通信技術者は現在も発展を続けており、アメリカ合衆国への移住も増加を続けているので誤り。

問4  正解 ③

**A**は都心部で、高度経済成長期の後半1965～1970年には地価の高騰などによるドーナツ化現象で人口が減少したので**シ**が該当し、2005～2010

年にはウォーターフロントの再開発などによる人口の都心回帰現象により増加率が高くなっている。**C**は大都市の郊外に位置するので、1965～1970年の増加率が高い**ス**である。**B**は1925年の人口密集地の外縁に位置するので、当時の人口増加地域になっている**サ**である。

問5  正解 ②

**タ**は、別荘などの住宅の割合が高いので**E**である。**チ**は、賃貸用・売却用の割合が高いので**G**となる。**ツ**は、空き家の割合が高いので**F**となる。

問6  正解 ③

図7でバス専用レーンは、都心部のタイペイ駅周辺と副都心の市役所周辺を結ぶ道路が最も古い時期に設置されたので**x**は誤り。図8のバス路線の長さはほとんど変化していないが、環境負荷の小さい地下鉄線路の長さは2000年代半ば以降伸びているので**y**は正しい。

### 第4問

#### 〈出題分野〉

アメリカ合衆国

問1  正解 ②・ 正解 ①

アメリカ合衆国では1950年代には北東部のメガロポリス地域に人口が集中しており、1970年代には安価な労働力や温暖な気候などを背景にサンベルトの人口が増加したので矢印は**イ**、要因は①となる。

問2  正解 ⑤

テキサス州はメキシコ湾岸の石油を背景に工業が発展しているので、工業用水の割合が高い**ク**である。ネブラスカ州はコーンベルトと冬小麦地帯に位置するので、農業用水の割合が高い**カ**となる。マサチューセッツ州はボストンを含むメガロポリス地域で人口が多いので、生活用水の割合が高い**キ**となる。

問3  正解 ①

大陸西岸の地点**X**は地中海性気候の**サ**で、内陸部の地点**Y**は気温の年較差が大きい**シ**となる。ミシガン州はかつて氷河に覆われた地域で、冷涼で

やせた土壌なのでテンサイの生産量が多い**H**となる。

問4 24 正解 ①

太平洋側のワシントン州は、アジア系の割合が高い**チ**となる。アフリカ系の住民は南部地域に多く分布しているが、ミシガン州の人口最大都市であるデトロイトでは自動車産業の労働者として流入したので極端に割合が高い**K**が人口最大都市である。

問5 25 正解 ②

都市人口率と同じような分布となっている**マ**は外国生まれの人口の割合で、人口の多い都市では雇用が多いため外国からの移民が多い。都市人口率が高い州では、賃貸住宅が多く持ち家が少ないので、ほぼ逆になっている**ミ**は持ち家率となる。アメリカ合衆国では、南部で人口の多いアフリカ系やヒスパニックの所得水準が低いので**ム**となる。

問6 26 正解 ④

**ラ**は北東部のニューイングランドや西海岸である。五大湖沿岸地域では、古くから工業が発展したが、近年は製造業の衰退により失業率の上昇や人口の減少などの問題が発生している。**リ**は移民労働者を増やすと元からの住民の職を奪うことになるので、工場の海外移転を抑制する政策となる。

## 第5問

### 〈出題分野〉

宮津市の地域調査

問1 27 正解 ③

図2より③が正しい。

問2 28 正解 ②

①武家屋敷は宮津城の周囲にあるので誤り。②体育館付近はイでは海で、アでは埋め立て地になっており正しい。③イでは大手橋への直線道路は見られないので誤り。④市役所(◎)は大手川沿いにあるので誤り。

問3 29 正解 ②

天橋立の見え方で判断する。①は中央手前から奥に見えるので**D**である。②は左から右斜め上に見え

るので**A**となる。③は右手前から左へ向かって見えるので**C**となる。④は手前に平野部があり、奥の左右方向に見えるので**B**となる。

問4 30 正解 ⑥

**カ**：冬の季節風は、日本海側から吹いてくるので湿っている。**キ**：生産が縮小したとあるので安価な織物製品となる。**ク**：日本製品は大量生産しても世界的にみると安価にはならないので、ブランド化して輸出する。

問5 31 正解 ④

④人口の郊外化とは、都心部の人口が郊外へと移動することなので、移住者の増加の背景とはならないので誤り。

問6 32 正解 ①

図5より、東京に次いで多いのは大阪となる。外国人旅行者が増加している地域は、東北地方・中国地方・九州地方なので、**F**となる。